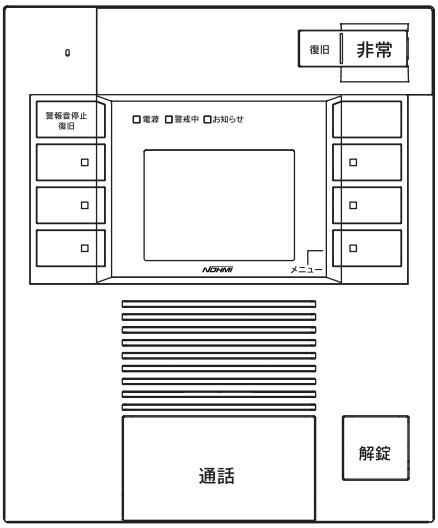
TN50878

NOHMI

リサ複合盤システム
コンフィー（カラーモニター付住宅情報盤）

工事店様用
工事説明書

HAPGJ304-U



警告

製品を正しくお使いいただくため、お取り付けの前にこの工事説明書を必ずお読みください。

目次

1.お取り付けの前に
■安全上のご注意 ……2
■梱包箱内の付属部品など ……3
■工事するにあたって準備する工具など ……3
2.カラーモニター付住宅情報盤の接続方法 ……4
3.カラーモニター付住宅情報盤の取り付け方法…5～7
■取り付け･接続に関する法律など……7
4.接続方法
■1通話路･1映像路の端子接続図 ……8
■2通話路･2映像路の端子接続図 ……9
5.機能の設定方法
■上部カバー内設定 ……10
■モニター設定（工事設定モード）……11～18
6.設置後の確認方法 ……20
7.仕様 ……21
8.アフターサービスについて……22

能美防災株式会社

1 お取り付けの前に

■安全上のご注意

お取り付けの前にこの「工事説明書」をよくお読みのうえ、正しい設置・配線をしていただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止願います。

危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをした時に想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

「危険」：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うかまたは機器の機能に致命的な悪影響を及ぼすことが想定される内容。

「警告」：取扱いを誤った場合、使用者が重傷や傷害を負うかまたは機器の機能の一部に重大な悪影響を及ぼす可能性が想定される内容。

「注意」：取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うかまたは機器の機能に悪影響を及ぼす可能性が想定される内容。

絵表示の見方

左の記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

左の記号は、禁止の行為を告げるものです。

左の記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠危 険

ガス漏れ検知器が発報した場合は、火を消してガスの元栓を締め、ガス会社に連絡してください。また、火気や静電気を発生するものを近づけたり、換気扇など電気機器のスイッチをON・OFFすると爆発の危険があります。自然換気を行ってください。

⚠警 告

電源の配線工事は、「電気工事士」の資格のある方が行ってください。
資格のない方の工事は、感電・故障・発火の原因となります。

消防法で義務付けられた部分に設置する場合は、消防設備士甲種第4類の資格が必要です。

各端子への配線は、所定の定格容量、極性に従い正しく配線してください。誤った場合、故障・発火の原因となります。

機器を分解・改造しないでください。感電・故障・発火の原因となります。

⚠注 意

電源接続前に本システム機器の定格電圧を確認してください。定められた定格電圧以外では、故障・発火の原因となります。

携帯電話、無線を近くで使用すると誤動作の原因となることがあります。

1 お取り付けの前に

⚠ 注 意

次の場所への設置および使用は避けてください。感電・故障・発火の原因となります。
- 直射日光の当たる場所。
- 暖房機器などの近くで、温度が上昇するところ。
- 常時ほこりや腐食性ガスが発生するところ。
- 湿度が高いところ。

機器を設置する時は、その重量に十分耐えるように、強固に取り付けてください。
安易な取り付けは脱落などにより怪我のもとになります。

充電部のカバーは、工事終了後かならず取り付けてください。感電の恐れが生じます。

弱電流線の配線は低圧屋内配線（AC100V、200V)とは30cm以上離してください。
ノイズや誤動作の原因となることがあります。

配線の被覆をむく時に、銅線にキズをつけないでください。
銅線が折れて差し込み端子から取れなくなることがあります。

本機はあらかじめ階・号室の設定が必要です。出荷時の設定は0階0号室となっています。
設定をせずにカラーモニター付住宅情報盤の電源を投入すると全表示灯（電源灯、警戒中灯、お知らせ灯、火災灯、ガス灯）が点滅し、正常に機能しません。

配線被覆のむき長さは指定通りにしてください。
接触不良や短絡事故の原因となることがあります。

■梱包箱内の付属部品など

梱包箱の中には次の付属部品が入っています。梱包箱を開けた際には、まず付属部品が揃っているか確認してください。

カラーモニター付住宅情報盤本体……1	火災感知器終端抵抗（4.7KΩ）……1
取扱説明書……1	Mネジ……4
タグカード（本体に付いています）……1	専用電源シール……1
機器保証書……1	防塵ビニール……1

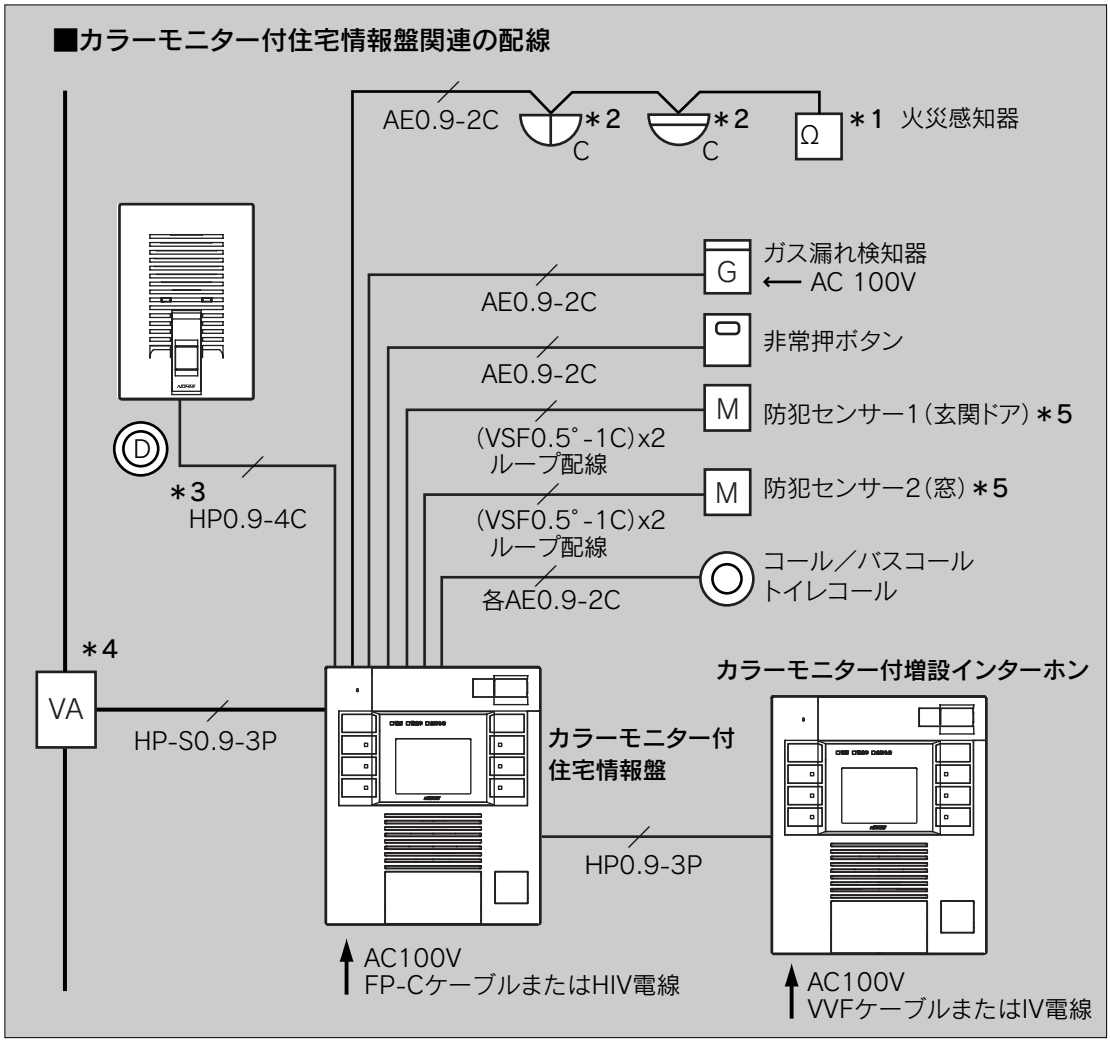
■工事するにあたって準備する工具など

カラーモニター付住宅情報盤の取り付け、配線に必要な工具は次の通りです。

名　称	工具を使用する主な作業内容
普通ドライバー	本体の取り付け
ニッパー	配線の切断、ケーブル外皮むき
ストリッパー	ケーブルの芯線の被覆むき
カッター	ケーブルの外皮むき
精密ドライバー	各種設定

2 カラーモニター付住宅情報盤の接続方法

カラーモニター付住宅情報盤（HAPGJ304-U）に接続する機器は下図の通りです。
配線の種類、配線数に注意してください。



注意 ＊1：終端抵抗は火災感知器送り配線最後の火災感知器ベースに付けてください。

注意 ＊2：火災感知器はアドレスの設定が必要です。
火災感知器を設置する前に設定してください。

＊3：カメラ付ドアホンを設置する場合はFCPEV0.9-1Pが追加となります。

＊4：1映像路の場合は収納型映像アダプター
2映像路の場合は露出型映像アダプター

＊5：防犯センサー1は玄関ドアに、防犯センサー2は窓に設置してください。

Ⓓ ドアホン（複合盤型）

C 定温式スポット型火災感知器（防水型・試験機能付）

C 差動式スポット型火災感知器（試験機能付）

Ω 終端抵抗 4.7KΩ1/2W

G 不完全燃焼機能付ガス漏れ検知器

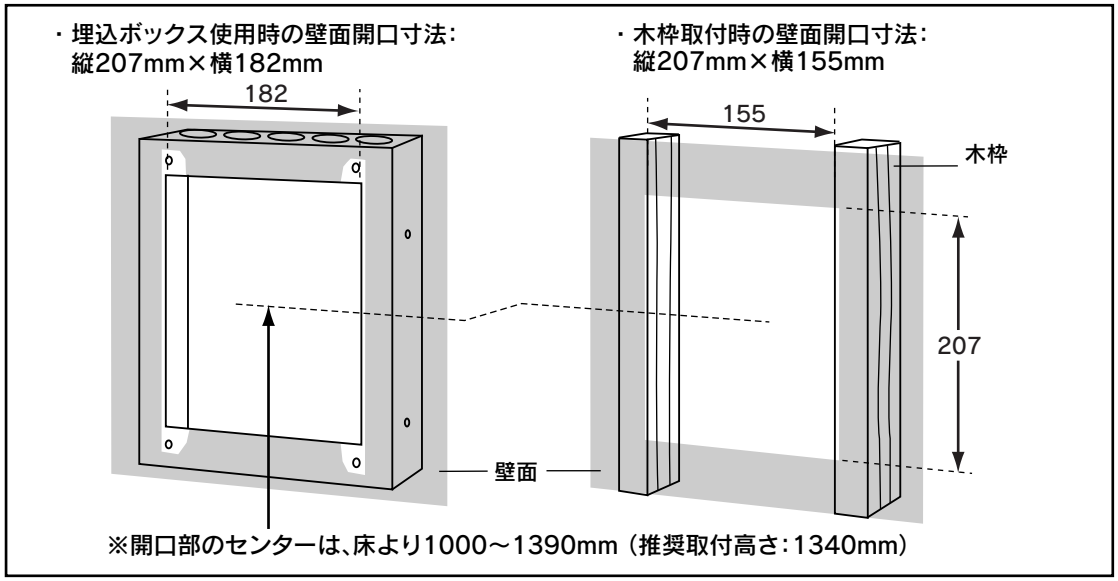
M 防犯センサー

VA 映像アダプター

3 カラーモニター付住宅情報盤の取り付け方法

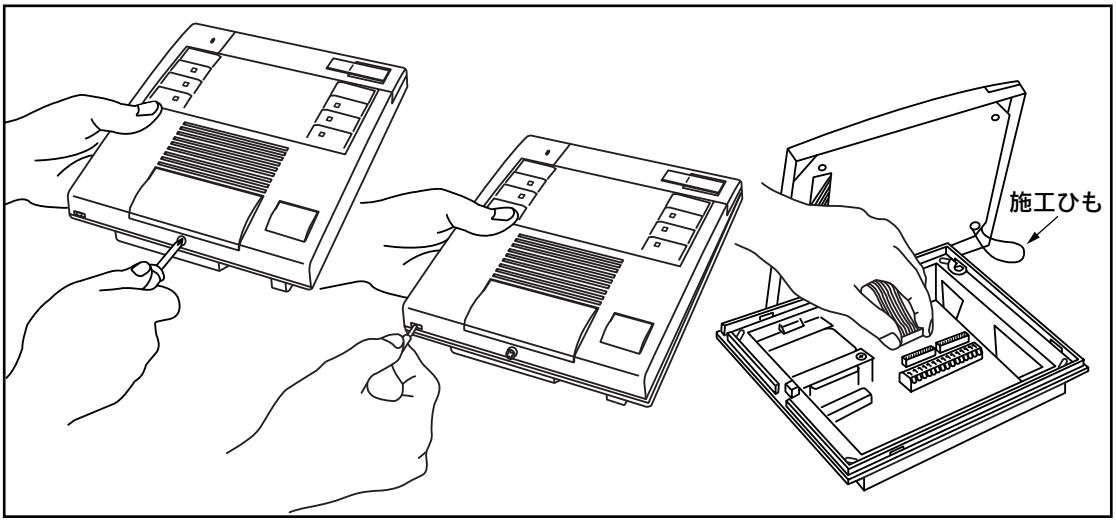
■埋込ボックスについて

※埋込ボックスは安全のため、必ず木枠を組んで取り付けてください。
※埋込ボックスはZBC-10型を使用してください。
※埋込ボックスを使用する場合は、AC100V線用の入線口を左端に、弱電流線用の入線口をその他の場所に開けてください。



■カラーモニター付住宅情報盤の取り付け方法

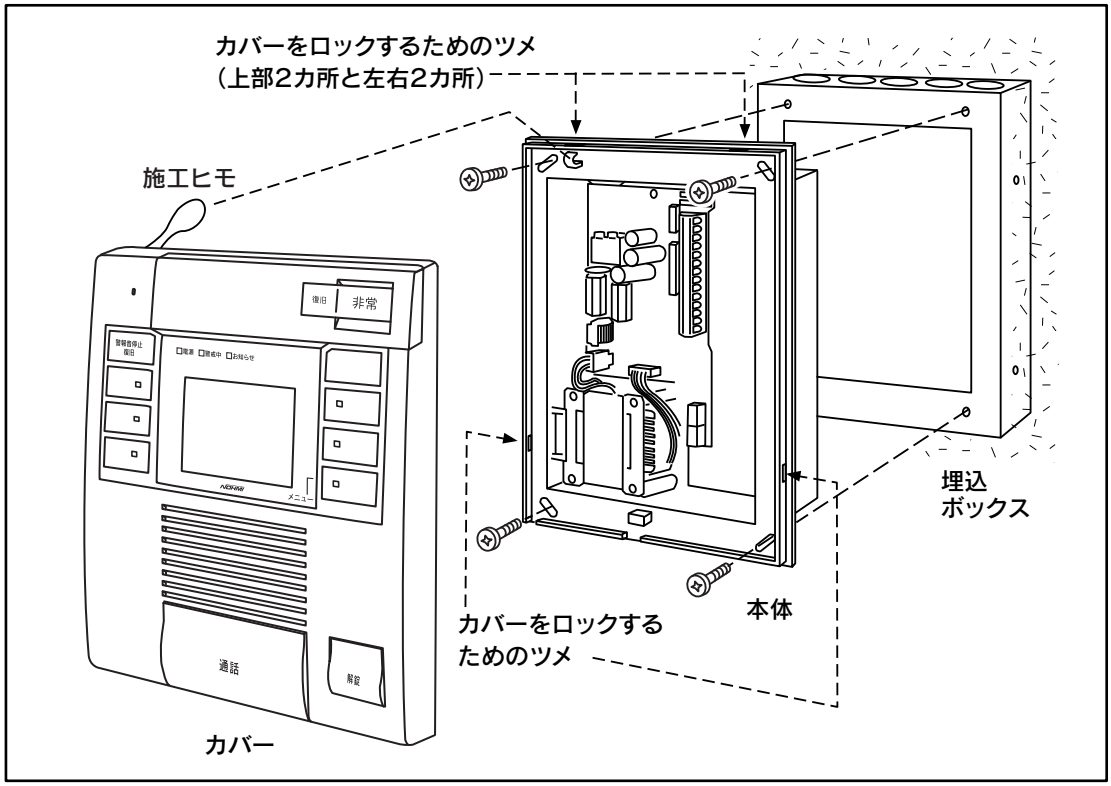
1 カラーモニター付住宅情報盤の取り付けは、壁面・埋込型です。取り付ける前に、まず本体のカバーをはずします。



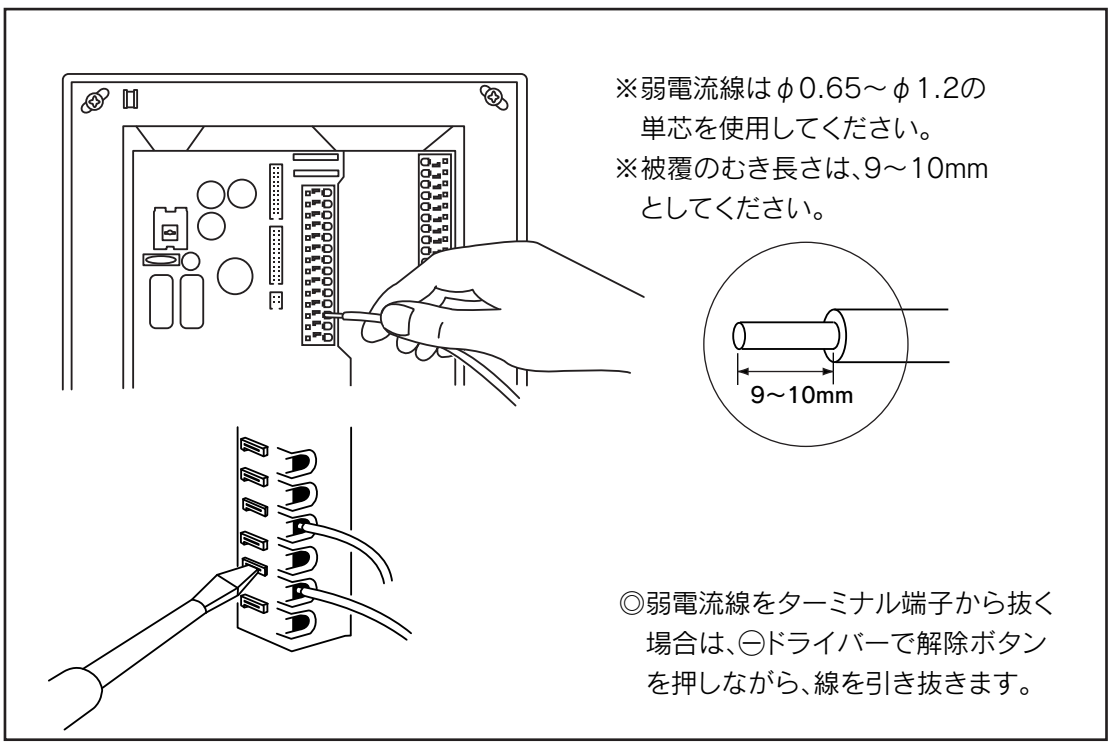
◎カラーモニター付住宅情報盤の底部にあるネジをドライバーでゆるめます。
◎タグカード引っ掛け部に精密ドライバーなどを挿入してカバー下面を少し持ち上げてから、上部にスライドさせて、本体からはずします。
◎施工ひも、コネクターをはずし、本体とカバーを分離します。

3 カラーモニター付住宅情報盤の取り付け方法

2 本体を付属のネジで、埋込ボックス（または木枠）に取り付けます。



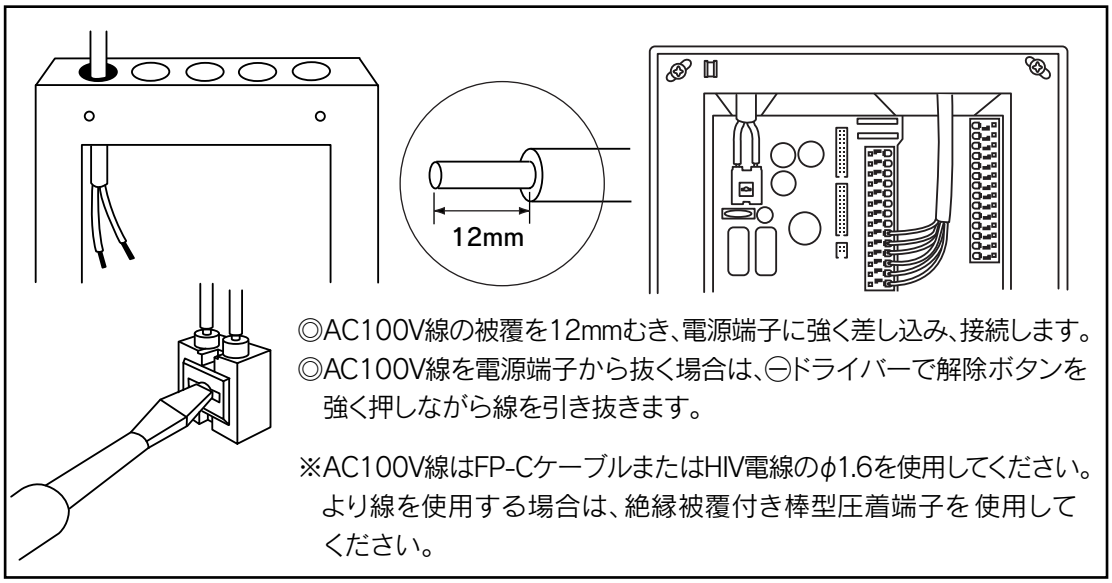
3 弱電流線を各ターミナル端子に差し込み、接続します。



3 カラーモニター付住宅情報盤の取り付け方法

4 AC100V線を電源端子に差し込み、接続します。

◎AC100V線を下図のように左端の入線口より引き込んでください。

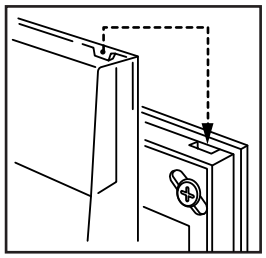


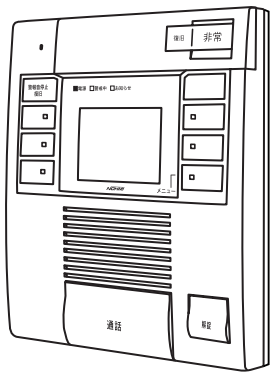
◎AC100V線の被覆を12mmむき、電源端子に強く差し込み、接続します。
◎AC100V線を電源端子から抜く場合は、⊖ドライバーで解除ボタンを強く押しながら線を引き抜きます。

※AC100V線はFP-CケーブルまたはHIV電線のφ1.6を使用してください。より線を使用する場合は、絶縁被覆付き棒型圧着端子を 使用してください。

5 本体にカバーを取り付けます。

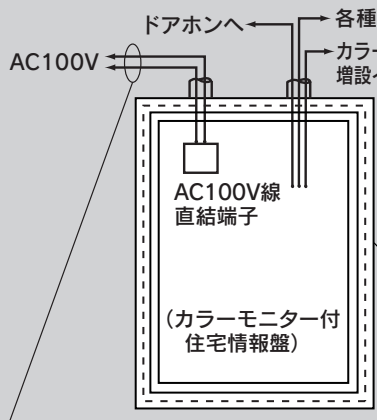
◎各線の接続後、カバーを取り付けるため、コネクターを元の通りに接続し、施工ひもを本体に取り付けます。
◎カバーを本体にかぶせ、上部のロック（2カ所のツメ）がかみ合ったことを確認してから、下面を本体に押しつけ、底面のネジを締めて止めます。





■取り付け・接続に関する法律など

・入線例とAC100V線の接続方法例



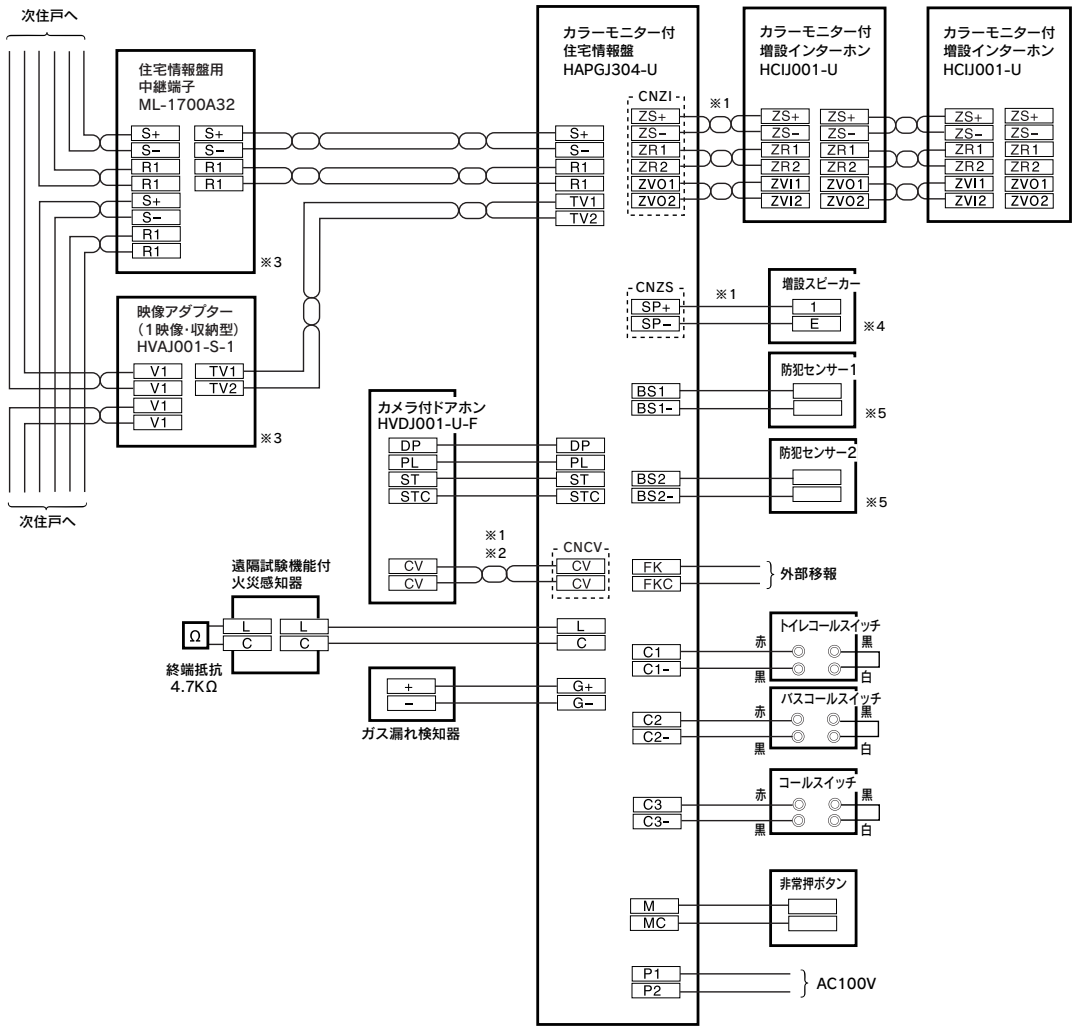
〈電気設備技術基準189条2項、3項の解説〉

189条2項において、各種工事をする場合、低圧屋内配線（AC100V線）が弱電流線または管に接触しないよう施設することが規定されています。
また、3項においてはライティングダクト工事、平形保護層工事、ケーブル工事以外で工事を行う場合、低圧屋内配線と弱電流線との間に堅牢な隔壁を設け、かつC種接地工事を施したボックスの中に低圧屋内配線と弱電流線を収め施設することが規定されています。
当カラーモニター付住宅情報盤における埋込ボックス内の低圧屋内配線については、3項の規定より除外されるケーブル工事に該当するFP-Cケーブル（通称耐火ケーブル）を使用して施設してください。

4 接続方法

カラーモニター付住宅情報盤と各機器の接続は、下図のように行ってください。
その際、極性や終端抵抗の処理などに注意してください。
幹線の接続は、リサ複合盤システム・コンフィーの「システム工事説明書」を参照してください。

■1通話路、1映像路の端子接続図

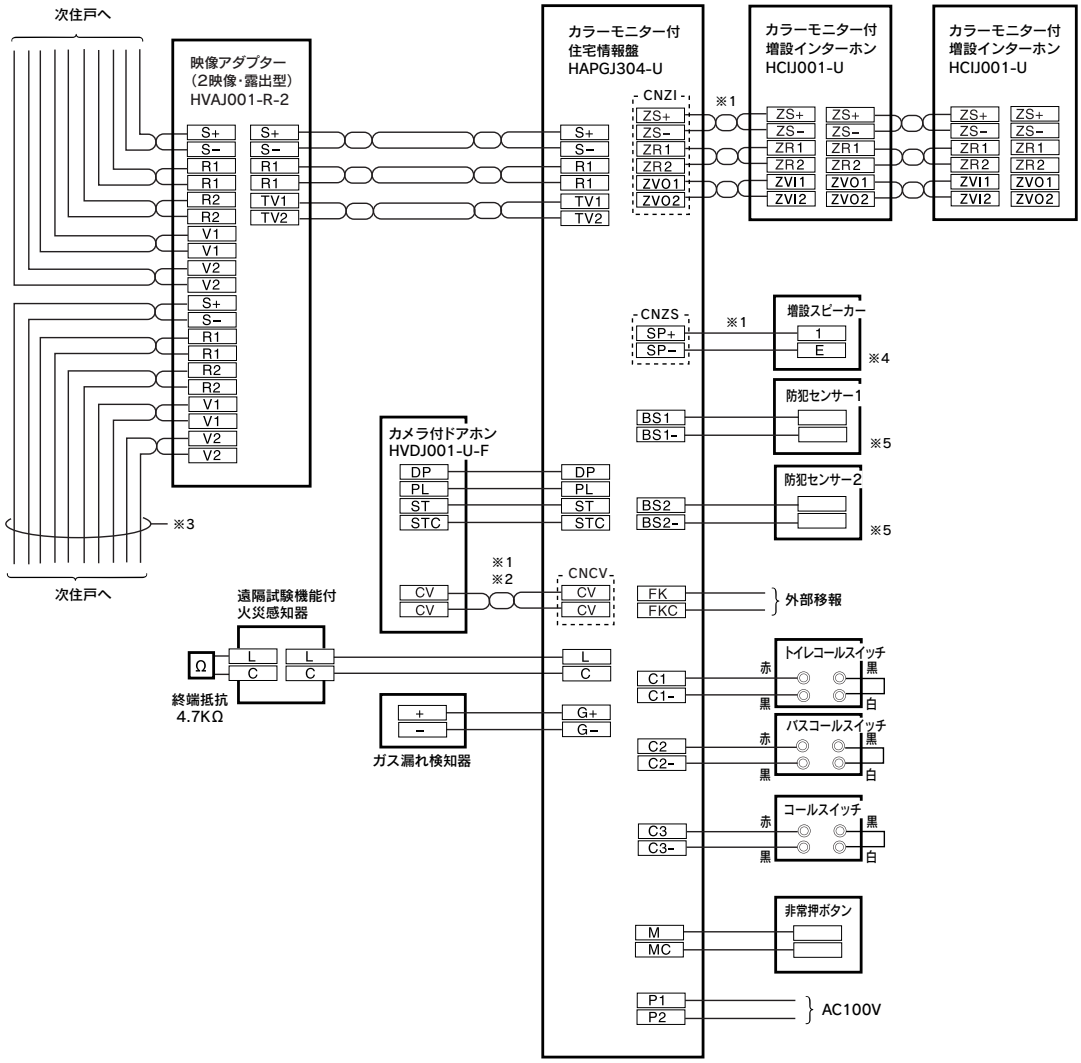


※1	コネクター名称	用途	備考
	CNZI	カラーモニター付増設インターホン接続用	カラーモニター付増設インターホン付属品
	CNZS	増設スピーカー接続用	別手配品
	CNCV	カメラ付ドアホン接続用	カメラ付ドアホン付属品

※2 カメラ付でないドアホンを設置する場合、CV・CVは不要です。
※3 映像アダプター（収納型HVAJ001-S-1）と住宅情報盤用中継端子（ML-1700A32）はドアホンボックス内に収納します。
※4 カラーモニター付増設インターホンを2台接続する場合、増設スピーカーは接続できません。
※5 防犯センサー1は玄関ドアに、防犯センサー2は窓に設置してください。（1回路の場合は、防犯センサー1に接続し、工事設定モードにて【防犯2無効】の設定を行ってください。）

4 接続方法

■2通話路、2映像路の端子接続図



※1	コネクター名称	用途	備考
	CNZI	カラーモニター付増設インターホン接続用	カラーモニター付増設インターホン付属品
	CNZS	増設スピーカー接続用	別手配品
	CNCV	カメラ付ドアホン接続用	カメラ付ドアホン付属品

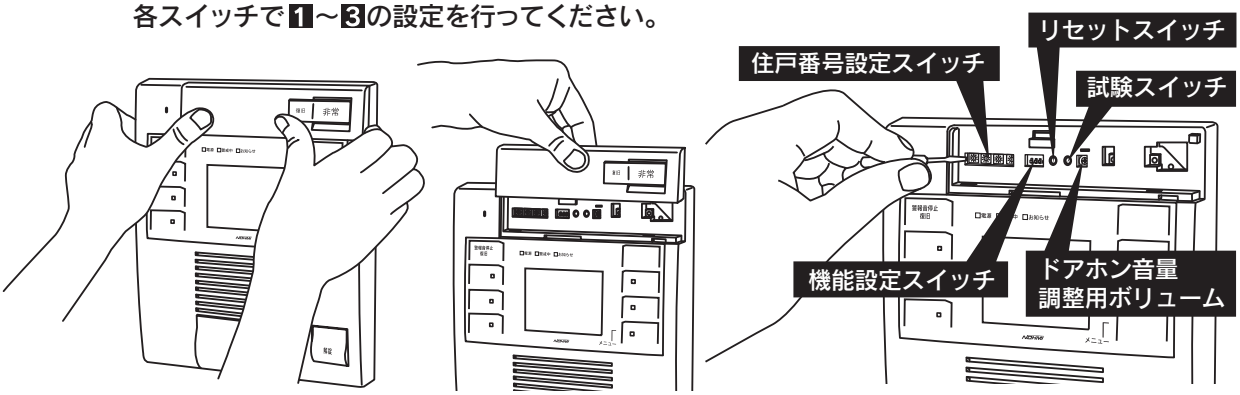
※2 カメラ付でないドアホンを設置する場合、CV・CVは不要です。
※3 映像用のケーブルは、必ず映像路ごとに別ケーブル配線としてください。
※4 カラーモニター付増設インターホンを2台接続する場合、増設スピーカーは接続できません。
※5 防犯センサー1は玄関ドアに、防犯センサー2は窓に設置してください。(1回路の場合は、防犯センサー1に接続し、工事設定モードにて【防犯2無効】の設定を行ってください。)

5 機能の設定方法

カラーモニター付住宅情報盤には、住宅の設備・運用に応じた機能を確保するため、次のような機能の切り替えが出来るようになっています。
設定は、「上部カバー内設定」と「モニター設定」があります。

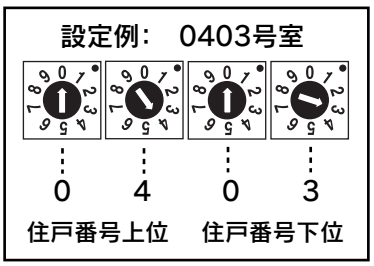
■上部カバー内設定

カラーモニター付住宅情報盤の「上部カバー」を上方にスライドして取りはずし、
各スイッチで**1**～**3**の設定を行ってください。



1 住戸番号を設定します。

リサ複合盤または集合玄関機から通話・呼び出しをカラーモニター付住宅情報盤に行うために、住戸番号を設定する必要があります。この設定は4個のロータリースイッチで行い、右図のようにスイッチと住戸番号が対応しています。ロータリースイッチには0～9までの数字があります。
精密ドライバーなどの先の細いもので設定してください。



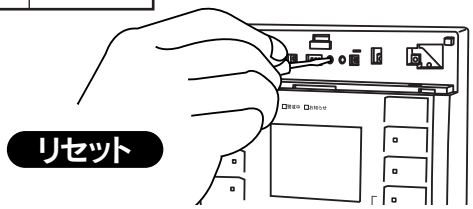
2 各種機能を設定します。

住宅の設備・運用に合わせた機能をディップスイッチで設定します。スイッチは精密ドライバーなどの先の細いもので動かしてください。

SW No.	内容	ON	OFF
1☒	防犯機能の有無	有り	無し
2	管理室呼出機能の有無	有り	無し
3	ガス漏れ検知器の有無	無し	有り
4	使用せず		

（初期設定）

※住戸番号および各種機能を設定した後は、
リセットスイッチを必ず押してください。
リセットしないと設定が変更されません。



3 ドアホンのスピーカー音量を調節します。

音量を上げたい場合：精密ドライバーなどで右に回します。
音量を下げたい場合：精密ドライバーなどで左に回します。
※通話時にハウリングする場合は音量を下げてください。

5 機能の設定方法

■モニター設定（工事設定モード）

下記1～4の手順にしたがい、モニター設定（工事設定モード）を設定してください。

1 工事設定モードに入ります。

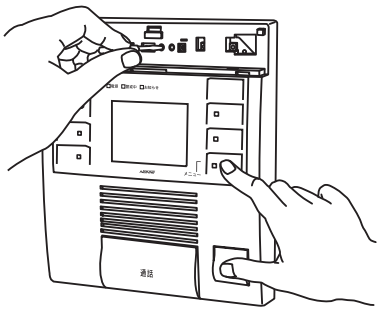
【メニュー】のボタンと「解錠」ボタンを押しながら、「リセット」スイッチを1秒以上押して、工事設定モードに入ります。

※【メニュー】のボタンと「解錠」ボタンはメニュー画面が表示するまで押し続けてください。

※工事設定モード中に「リセット」スイッチを押すと、工事設定モードが解除されます。

※工事設定モード中は電源灯が消灯します。

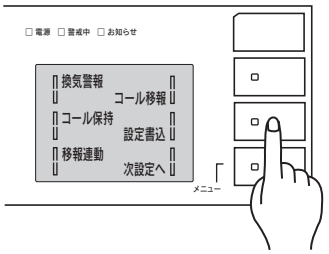
※工事設定モード中は、管理室で警報が鳴動することがあります。（「リセット」スイッチを押すと約1分後に復旧します）



モニターに
メニュー画面が
表示されるまで押し続ける

2 工事設定モードで設定する項目を選択します。

工事設定モードのメニュー画面から、設定したい項目（12ページ参照）を選択し、設定します。



3 設定を書き込みます。

各項目を設定後、【設定書込】のボタンを押し、設定を書き込みます。

設定終了後、「リセット」スイッチを押すと通常状態に戻ります。

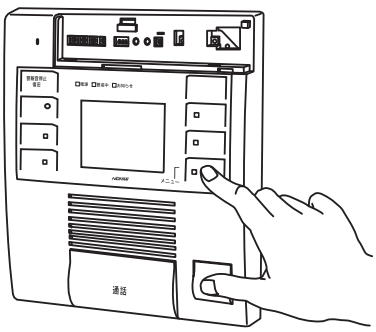
※設定を書き込まずにモニター設定（工事設定モード）を終了すると、設定は有効になりません。

4 工事設定を確認します。

工事設定確認モードにて、工事設定モードで設定した項目を確認できます。

モニターが消灯した状態で「解錠」ボタンを押しながら、【メニュー】のボタンを3秒以上押して、工事設定確認モードに入ります。

【前へ】のボタンと【次へ】のボタンを押して、各項目を確認してください。



3秒以上押す

※工事設定モードから工事設定確認モードには入れません。

※先に「解錠」ボタンを押し、押したまま【メニュー】のボタンを3秒以上押してください。

※工事設定確認モードは「解錠」ボタンの押下、警報入力、呼出入力のいずれかにより解除されます。

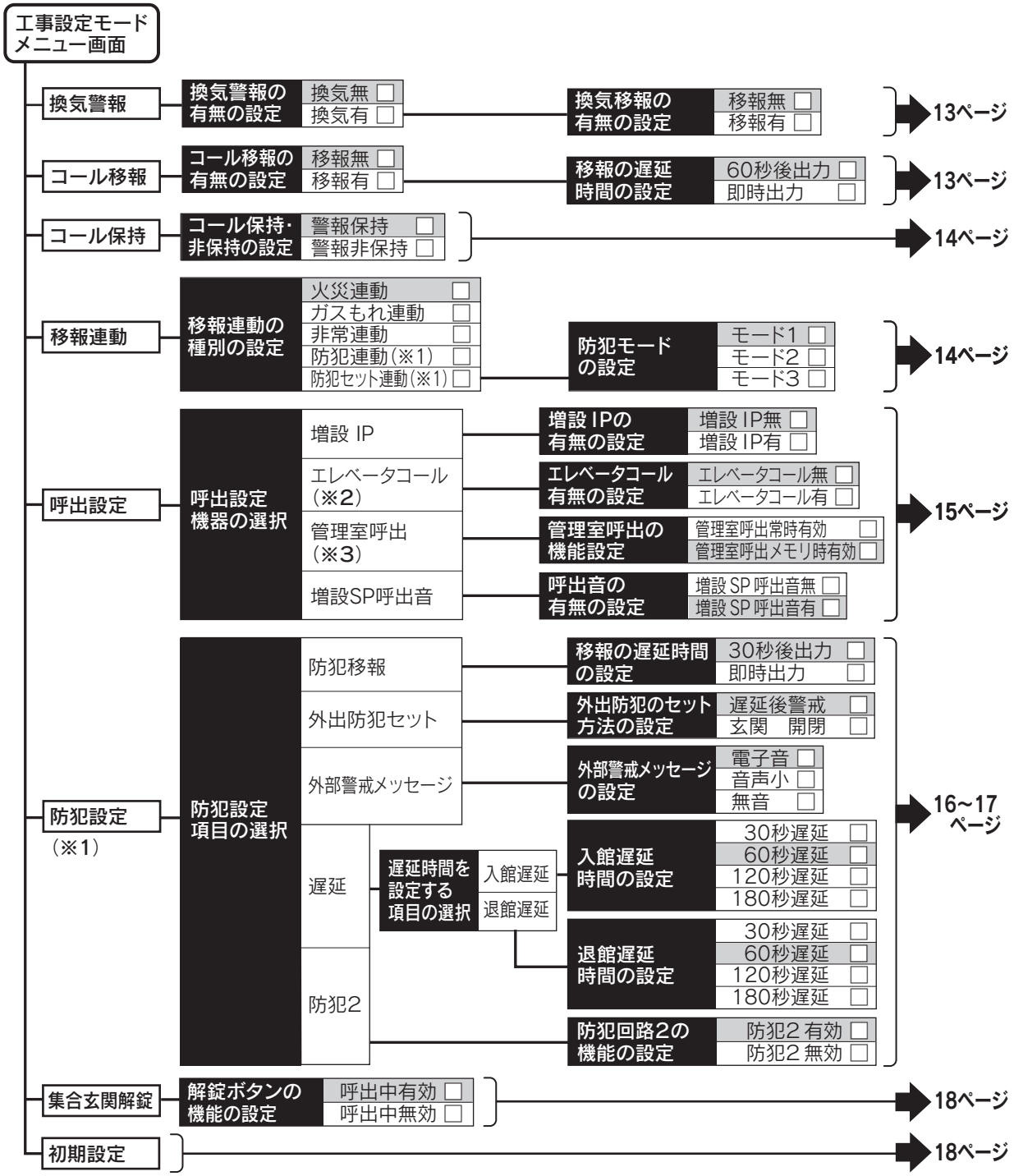
※工事設定確認モード中は電源灯が点灯します。

※確認できる項目は、12ページの内容です。

5 機能の設定方法

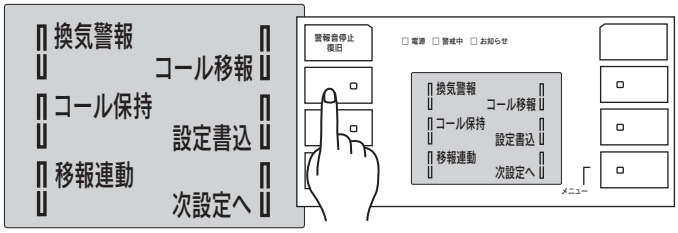
・工事設定モードで設定できる項目（■は初期設定を示す）

※設定した項目にチェック（☑）を入れ、設定状態を書き込んでください。



※1　ディップスイッチの設定で防犯機能が「無し」の設定になっている場合、表示されません。
※2　対応エレベータとの連動が必要です。
※3　ディップスイッチの設定で管理室呼出機能が「無し」の設定になっている場合、表示されません。

5 機能の設定方法



■換気警報 （初期設定:【換気無】）

◎工事設定モードのメニュー画面の**【換気警報】**のボタンを押します。
●換気警報の有無を設定する画面を表示します。
◎下表に従い、換気警報の有無を選択し、**【次へ】**のボタンを押します。

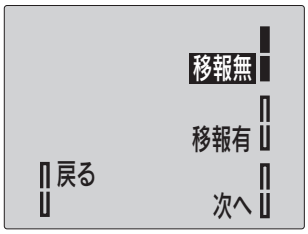
【換気無】	換気警報をしない
【換気有】	換気警報をする

※換気機能は不完全燃焼警報機能付ガス漏れ検知器が設置されていなければ使用できません。

(A)【換気無】を選択した場合

◎メニュー画面の**【設定書込】**のボタンを押し、設定を書き込みます。

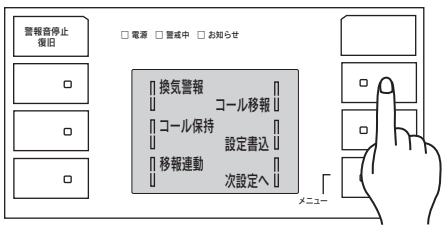
(B)【換気有】を選択した場合（初期設定:【移報無】）



●換気移報の有無を設定する画面を表示します。
◎下表に従い、換気移報の有無を選択し、**【次へ】**のボタンを押します。

【移報無】	換気移報をしない
【移報有】	換気移報をする

◎メニュー画面の**【設定書込】**のボタンを押し、設定を書き込みます。



■コール移報 （初期設定:【移報無】）

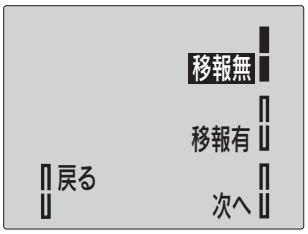
◎工事設定モードのメニュー画面の**【コール移報】**のボタンを押します。
●コール移報の有無を設定する画面を表示します。
◎下表に従い、コール移報の有無を選択し、**【次へ】**のボタンを押します。

【移報無】	コール移報をしない
【移報有】	コール移報をする

(A)【移報無】を選択した場合

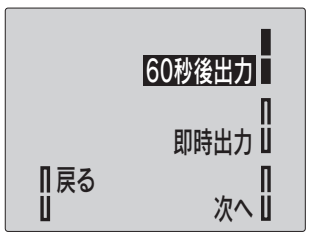
◎メニュー画面の**【設定書込】**のボタンを押し、設定を書き込みます。

(B)【移報有】を選択した場合（初期設定:【60秒後出力】）



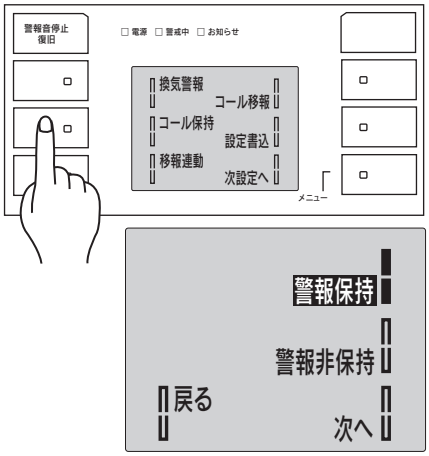
●移報の遅延時間を設定する画面を表示します。
◎下表に従い、移報の遅延時間を選択し、**【次へ】**のボタンを押します。

【60秒後出力】	移報の遅延時間を60秒とする
【即時出力】	移報の遅延時間を設けずに即時出力する



◎メニュー画面の**【設定書込】**のボタンを押し、設定を書き込みます。

5 機能の設定方法

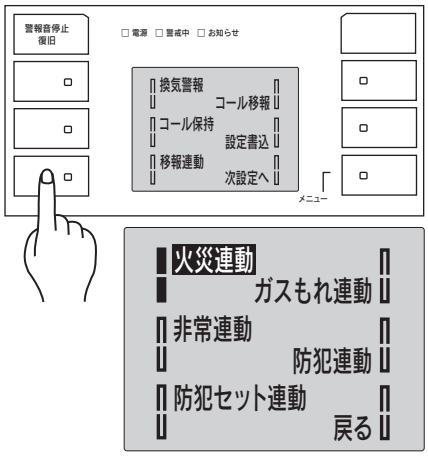


■コール保持 （初期設定:【警報保持】）

◎工事設定モードのメニュー画面の**【コール保持】**のボタンを押します。
●コール警報の保持・非保持を設定する画面を表示します。
◎下表に従い、警報の保持・非保持を選択し、**【次へ】**のボタンを押します。

【警報保持】	コール警報を保持する ※ノンロック式のコールボタンを使用してください。
【警報非保持】	コール警報を保持しない ※ロック式のコールボタンを使用してください。

◎メニュー画面の**【設定書込】**のボタンを押し、設定を書き込みます。
※照光式のコールボタンを使用する場合は、ロック式のコールボタンを使用してください。

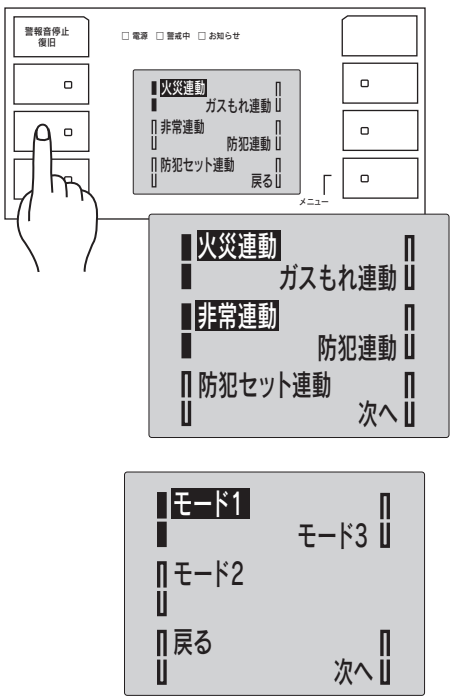


■移報連動 （初期設定:【火災連動】）

◎工事設定モードのメニュー画面の**【移報連動】**のボタンを押します。
●連動できる項目（下表参照）を表示します。
◎連動したい項目を選択し、**【次へ】**のボタンを押します。

連動項目 （複数選択可）	**【火災連動】**	**【ガスもれ連動】**	**【非常連動】**
	【防犯連動】	**【防犯セット連動】**	

※複数の項目を選択する場合は、続けて連動したい項目のボタンを押します。（選択した項目を反転表示します）
※反転表示された項目のボタンを再度押すと、反転表示が解除され、連動項目から削除します。
※連動項目を複数選択すると、選択した項目のいずれかの信号で連動出力します。（OR連動）ただし**【防犯セット連動】**は他の項目と同時に連動できません。
※ディップスイッチの設定で防犯機能が「無し」の設定になっている場合、**【防犯連動】【防犯セット連動】**は表示されません。
※**【ガスもれ連動】**は、ガスもれ時と換気時のOR連動で出力されます。



（A）【火災連動】【ガスもれ連動】【非常連動】【防犯連動】を選択した場合

◎メニュー画面の**【設定書込】**のボタンを押し、設定を書き込みます。
※左図は**【非常連動】**のボタンを押したときの例。

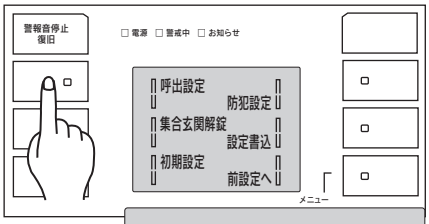
（B）【防犯セット連動】を選択した場合（初期設定:【モード1】）

●防犯セット連動のモードを設定する画面を表示します。
◎下表に従いモードを選択し、**【次へ】**のボタンを押します。

	モード出力パターン		
	モード1	モード2	モード3
外出防犯中	ブレーク	ブレーク	メーク
入館遅延中	メーク	メーク	メーク
退館遅延中	メーク	メーク	メーク
在宅防犯中	メーク	ブレーク	ブレーク
部分防犯中	メーク	ブレーク	ブレーク
在宅中（解除中）	メーク	メーク	ブレーク

◎メニュー画面の**【設定書込】**のボタンを押し、設定を書き込みます。

5 機能の設定方法

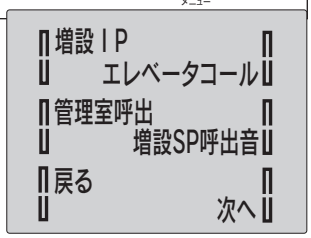


■呼出設定

◎工事設定モードのメニュー画面の**【次設定へ】**のボタンを押し、**【呼出設定】**のボタンを押します。
●呼出設定できる項目（下表参照）を表示します。
◎呼出設定したい項目を選択し、**【次へ】**のボタンを押します。

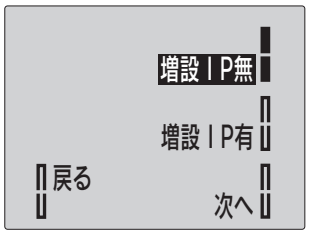
呼出設定できる項目			
【増設IP】	**【エレベータコール】**	**【管理室呼出】**	**【増設SP呼出音】**

※ディップスイッチで管理室呼出機能が「無し」の設定になっている場合、**【管理室呼出】**は表示されません。



□【増設IP】を選択した場合（初期設定：【増設IP無】）

●増設IPの有無を設定する画面を表示します。
◎下表に従い、カラーモニター付増設インターホンの有無を選択し、**【次へ】**のボタンを押します。

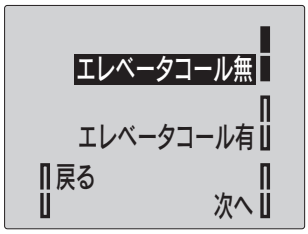


【増設IP無】	カラーモニター付増設インターホンを使用しない
【増設IP有】	カラーモニター付増設インターホンを使用する

◎メニュー画面の**【設定書込】**のボタンを押し設定を書き込みます。

□【エレベータコール】を選択した場合（初期設定：【無】）

●エレベータコールの有無を設定する画面を表示します。
◎下表に従い、エレベータコールの有無を選択し、**【次へ】**のボタンを押します。

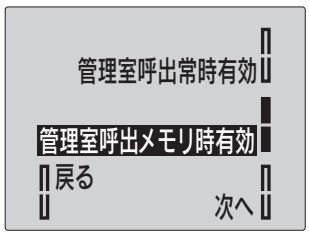


【エレベータコール無】	エレベータコールを使用しない
【エレベータコール有】	エレベータコールを使用する

◎メニュー画面の**【設定書込】**のボタンを押し、設定を書き込みます。
※対応エレベータとの連動が必要です。

□【管理室呼出】を選択した場合（初期設定：【管理室呼出メモリ時有効】）

●管理室呼出の機能を設定する画面を表示します。
◎下表に従い、管理室呼出機能を選択し、**【次へ】**のボタンを押します。

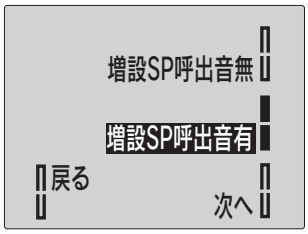


【管理室呼出常時有効】	管理室呼出を常時有効にする
【管理室呼出メモリ時有効】	管理室からの呼出メモリがある場合のみ管理室呼出を可能にする

◎メニュー画面の**【設定書込】**のボタンを押し、設定を書き込みます。

□【増設SP呼出音】を選択した場合（初期設定：【増設SP呼出音有】）

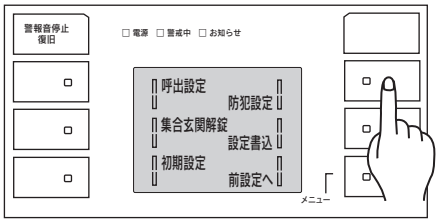
●増設スピーカーより呼出音を鳴動させるか、させないかを設定する画面を表示します。
◎下表に従い、呼出音の有無を選択し、**【次へ】**のボタンを押します。

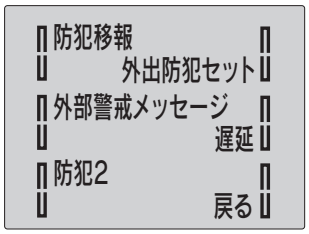


【増設SP呼出音無】	増設スピーカーより呼出音を鳴動しない
【増設SP呼出音有】	増設スピーカーより呼出音を鳴動する

◎メニュー画面の**【設定書込】**のボタンを押し、設定を書き込みます。

5 機能の設定方法





■防犯設定

◎工事設定モードのメニュー画面の**【次設定へ】**のボタンを押し、**【防犯設定】**のボタンを押します。

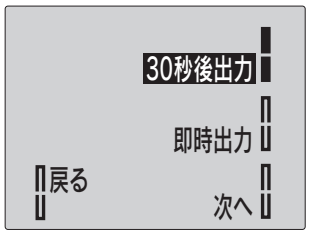
※ディップスイッチの設定で防犯機能が「無し」の設定になっている場合、**【防犯設定】**は表示されません。

●防犯設定できる項目（下表参照）を表示します。

◎防犯設定したい項目を選択します。

防犯設定できる項目		
【防犯移報】	**【外出防犯セット】**	**【外部警戒メッセージ】**
【遅延】	**【防犯2】**	

□**【防犯移報】**を選択した場合（初期設定：**【30秒後出力】**）



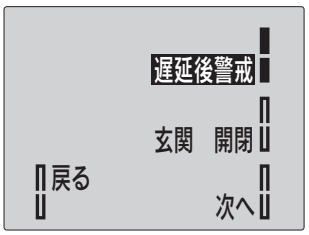
●防犯移報の遅延時間を設定する画面を表示します。

◎下表に従い、遅延時間を選択し、**【次へ】**のボタンを押します。

【30秒後出力】	移報の遅延時間を30秒とする
【即時出力】	移報の遅延時間を設けずに即時出力する

◎メニュー画面の**【設定書込】**のボタンを押し、設定を書き込みます。

□**【外出防犯セット】**を選択した場合（初期設定：**【遅延後警戒】**）



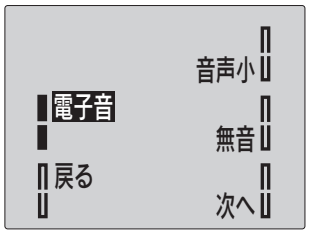
●外出防犯のセット方法を設定する画面を表示します。

◎下表に従い、セット方法を選択し、**【次へ】**のボタンを押します。

【遅延後警戒】	一定時間遅延後から警戒を開始する
【玄関　開閉】	玄関の開閉1回から警戒を開始する

◎メニュー画面の**【設定書込】**のボタンを押し、設定を書き込みます。

□**【外部警戒メッセージ】**を選択した場合（初期設定：**【電子音】**）



●外部警戒メッセージを設定する画面を表示します。

◎下表に従い、外部警戒メッセージを選択し、**【次へ】**のボタンを押します。

【電子音】	外部警戒メッセージを電子音とする
【音声小】	外部警戒メッセージを小さい音声とする
【無音】	無音とする

※外部警戒メッセージは、カラーモニター付住宅情報盤とドアホンから鳴動します。

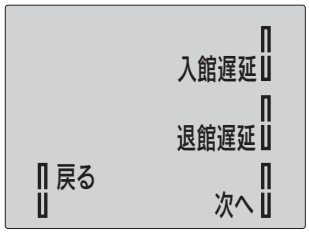
※電子音：＜**ピン**＞
　音声　：＜**警戒を開始します**＞

◎メニュー画面の**【設定書込】**のボタンを押し、設定を書き込みます。

※**【防犯在宅】【防犯外出】**時の警戒メッセージは、お客様用の設定にて設定してください。

※対応設備との連動が必要です。

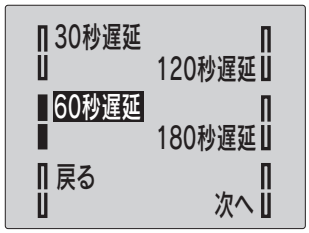
5 機能の設定方法



□【遅延】を選択した場合

●遅延時間を設定できる項目（下表参照）を表示します。
◎遅延時間を設定したい項目を選択し、**【次へ】**のボタンを押します。

遅延時間を設定できる項目	
【入館遅延】	**【退館遅延】**

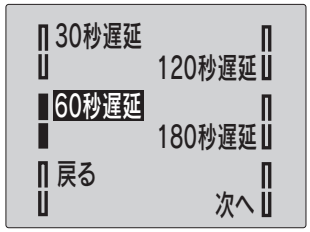


◇【入館遅延】を選択した場合（初期設定：【60秒遅延】）

●入室から防犯解除までの遅延時間を設定する画面を表示します。
◎下表に従い、遅延時間を選択し、**【次へ】**のボタンを押します。

【30秒遅延】	解除までの遅延時間を30秒とする
【60秒遅延】	解除までの遅延時間を60秒とする
【120秒遅延】	解除までの遅延時間を120秒とする
【180秒遅延】	解除までの遅延時間を180秒とする

◎メニュー画面の**【設定書込】**のボタンを押し、設定を書き込みます。
※**【入館遅延】**は防犯センサー1の回路に設定されます。
防犯センサー2の回路は即時固定です。



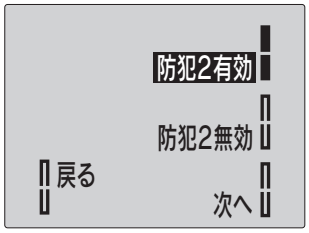
◇【退館遅延】を選択した場合（初期設定：【60秒遅延】）

●防犯外出セットから外出までの遅延時間を設定する画面を表示します。
◎下表に従い、遅延時間を選択し、**【次へ】**のボタンを押します。

【30秒遅延】	外出までの遅延時間を30秒とする
【60秒遅延】	外出までの遅延時間を60秒とする
【120秒遅延】	外出までの遅延時間を120秒とする
【180秒遅延】	外出までの遅延時間を180秒とする

◎メニュー画面の**【設定書込】**のボタンを押し、設定を書き込みます。

※**【退館遅延】**は防犯センサー1および防犯センサー2の回路に設定されます。
※**【外出防犯セット】**の設定で**【玄関　開閉】**に設定した場合、遅延時間を設定しても有効になりません。



□【防犯2】を選択した場合（初期設定：【防犯2有効】）

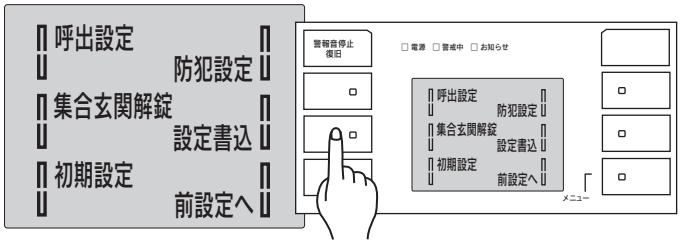
●防犯回路2を有効にするか、無効にするかを設定する画面を表示します。
◎下表に従い、機能を選択し、**【次へ】**のボタンを押します。

【防犯2有効】	防犯回路2を有効とする
【防犯2無効】	防犯回路2を無効とする

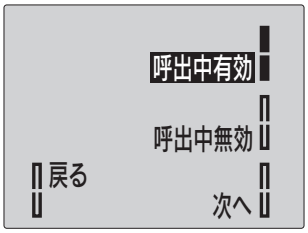
◎メニュー画面の**【設定書込】**のボタンを押し、設定を書き込みます。

※防犯回路が1回路の場合は、防犯センサー1（BS1、BS1−）に接続し、**【防犯2無効】**に設定してください。

5 機能の設定方法



■集合玄関解錠 （初期設定:【呼出中有効】）

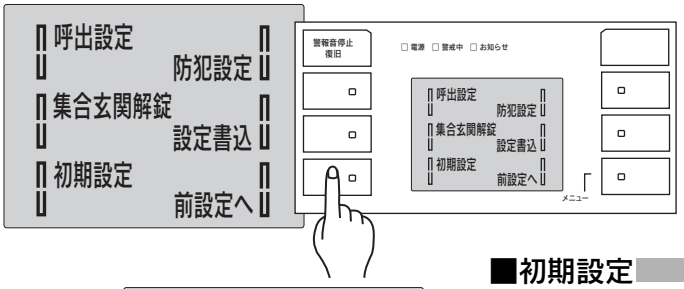


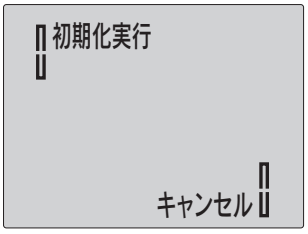
◎工事設定モードのメニュー画面の**【次設定へ】**のボタンを押し、**【集合玄関解錠】**のボタンを押します。
●集合玄関機から呼ばれた時、呼出中でも「**解錠**」ボタンを有効にするか、無効にするかを設定する画面を表示します。
◎下表に従い、機能を選択し、**【次へ】**のボタンを押します。

【呼出中有効】	集合玄関機から呼ばれた時、呼出中（通話前）でも「**解錠**」のボタンを有効にする
【呼出中無効】	集合玄関機から呼ばれた時、呼出中（通話前）は「**解錠**」のボタンを無効にする

◎メニュー画面の**【設定書込】**のボタンを押し、設定を書き込みます。

※HCE051型シリーズ、HVE051型シリーズの集合玄関機を使用する場合は、**【呼出中無効】**に設定してください。





■初期設定

◎工事設定モードのメニュー画面の**【次設定へ】**のボタンを押し、**【初期設定】**のボタンを押します。
●**【初期化実行】**と**【キャンセル】**を表示します。
◎下表に従い、項目を選択します。

【初期化実行】	設定したデータを初期化する
【キャンセル】	初期化しない

◎**【初期化実行】**のボタンを押すと**【初期化中】**を約2秒間表示し、データの初期化を行います。

MEMO

6 設置後の確認方法

設置後は、カラーモニター付住宅情報盤、ドアホンおよびリサ複合盤の「取扱説明書」をご覧いただき、次の各機能項目の確認を行ってください。

■インターホンに関連する機能

(1)ドアホンから呼ばれた時の通話　(2)リサ複合盤(管理室)への呼出しと通話
(3)集合玄関機から呼ばれた時の通話

■セキュリティ機能

(1)火災が発生した時の動作　(2)火災感知器の遠隔試験を実施した時の動作
(3)ガスもれが発生した時の動作　(4)非常通報時の動作
(5)防犯センサー作動時の動作　(6)コール信号が入った時の動作

※火災に関する試験は、点検資格が必要です。点検資格者が実施してください。火災感知器の遠隔試験の方法は、リサ複合盤に添付された取扱説明書をご覧ください。また、遠隔試験時はドアホンで警報表示灯が点滅し、カラーモニター付住宅情報盤では警報・表示しません。

■故障時の機能

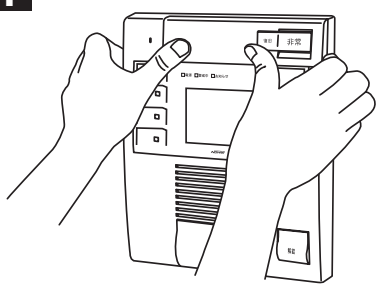
(1)火災感知器線が断線した時の動作　(2)ガス漏れ検知器線が断線した時の動作

■カラーモニター付住宅情報盤の試験スイッチによる動作

カラーモニター付住宅情報盤には、火災、ガスもれ警報を試験する機能があります。
次の手順により行ってください。

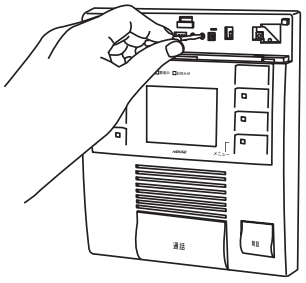
※火災・ガスもれ警報は、試験スイッチを離すと止まります。

1



◎上部カバーをはずします。

2

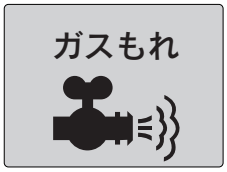


◎試験スイッチを押します。

3

●火災灯が点滅、モニターで火災表示し、火災警報メッセージが鳴動します。

4



●試験スイッチを押しつづけ、約40秒後にガス灯が点滅、モニターでガスもれ表示し、ガスもれ警報メッセージが鳴動します。
(**3**と**4**を1フレーズごとにくり返します。)

5

◎上部カバーを元に戻します。

7 仕様（カラーモニター付住宅情報盤 HAPGJ304-U ）

種別	GP型3級受信機（遠隔試験機能付）　カラーモニター付住宅情報盤（複合盤・集合玄関型）
型名	HAPGJ304-U
回線数	火災：1　　ガスもれ：1
構造	埋込型
画面サイズ	3.5型
国検型式番号	受第16～7号
主電源	AC100V±10%、50／60Hz
回路電圧	[火災感知器]DC12V（定電圧電源）　[インターホン]DC12V（定電圧電源） [IC回路]DC5V（定電圧電源）
消費電力	監視時：約9W　作動時：約20W　最大時：約30W（カメラ付ドアホン接続時）
機器接続個数	火災感知器：　熱感知器16個または煙感知器10個 ガス漏れ検知器：1台 ドアホン：　1台 カラーモニター付増設インターホン：2台 増設スピーカー：1台 その他：　非常押ボタン、防犯センサー（マグネットスイッチ）2系統、 コールボタン　など
（蓄積／遅延）機能	火災感知器：　蓄積機能なし ガス漏れ検知器：遅延機能あり（標準遅延時間：40秒）
主音響装置	スピーカーによる音声警報（DC12V、57mA、70dB、スピーカー径φ50mm）
環境条件	使用温度範囲：0～40℃　使用湿度範囲20～85%（RH）
外部配線抵抗 または、配線距離	火災感知器：10Ω以下、150m ガス漏れ検知器：10Ω以下、150m ドアホン：50m カラーモニター付増設インターホン／スピーカー：50m
終端処理	火災感知器回線の末端には終端抵抗（4.7kΩ、1／2W）を接続
主材・色	難燃ABS樹脂・オフホワイト
質量	約1680g
適合埋込ボックス	ZBC-10

8 アフターサービスについて

この製品には2年間の保証が付いています。故障と思われる場合は、能美防災株式会社最寄りのお問い合わせ先へご連絡ください。
機器保証書の記載内容により、無償修理させていただきます。機器保証書は、大切に保管してください。

・技術的なお問い合わせ　**能美防災株式会社・技術部・管理1課　TEL:(03)3265-0232**
・能美防災株式会社最寄りのお問い合わせ先

[補修用性能部品について]

この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、生産中止後6年です。
この期間は経済産業省の指導によるものです。

警告

機器を分解・改造しないでください。
感電・故障・発火の原因となります。

MEMO

MEMO

NOHMI 能美防災株式会社

本　　社／〒102-8277　東京都千代田区九段南4-7-3　TEL.(03)3265-0211　FAX.(03)3264-4948
支　　社／北海道(011)746-6911　東　北(022)221-2695　新　潟(025)243-8121　丸の内(03)3213-1781
茨　城(029)225-2600　北関東(048)642-0147　千　葉(043)266-0303　西関東(0426)27-4930
横　浜(045)682-4700　長　野(026)227-5521　静　岡(054)247-3211　名古屋(052)915-2411
金　沢(076)252-6211　大　阪(06)6330-8661　京　都(075)231-0128　神　戸(078)334-3581
広　島(082)263-7334　岡　山(086)244-4222　九　州(092)712-1560　熊　本(096)360-1051
営 業 所／旭　川(0166)23-7823　帯　広(0155)25-4900　青　森(017)729-0532　盛　岡(019)645-0552
秋　田(018)862-5086　郡　山(024)933-5580　福　島(024)528-4195　上　越(0255)26-1886
羽　田(03)3747-6800　渋　谷(03)3461-1051　杉　並(03)3306-0451　城　東(03)3645-8300
城　北(03)5292-2137　五反田(03)3779-9737　土　浦(029)822-3851　宇都宮(028)637-4317
群　馬(027)328-1567　埼玉西(049)247-4640　メヌマ(048)588-2893　川　崎(044)233-5773
沼　津(055)923-9669　浜　松(053)473-3422　岐　阜(058)276-7761　三　重(059)226-9860
富　山(076)425-1496　福　井(0776)21-0056　高　松(087)862-6012　徳　島(088)625-4325
松　山(089)974-2823　北九州(093)551-2588　長　崎(095)845-0135　大　分(097)543-2778
宮　崎(0985)28-8792　鹿児島(099)253-8196　沖　縄(098)862-4297
工　　場／三　鷹(0422)44-5141　メヌマ(048)588-1531

04G